

# 令和５年度 教育活動に関するアンケート 集計結果と考察

小平市立小平第十三小学校

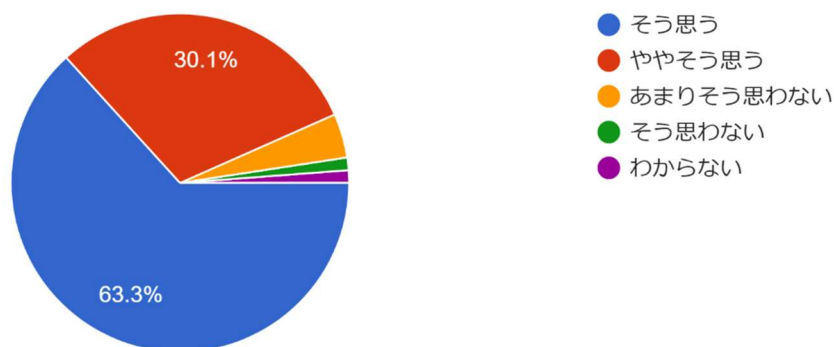
令和５年度の「教育活動に関するアンケート」（保護者対象のアンケート）の集計結果が以下のようにまとまりましたのでお知らせいたします。ご多用の中、ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

全校児童数： ３９２名      家庭数： ３０７世帯      回答数： １６６件

いただいたアンケート結果は、おおむね肯定的な評価でしたが、中には次年度以降の教育活動に反映させねばならない結果となった項目もあります。全教職員で結果を共有するとともに、令和６年度の教育活動に反映させてまいります。

## １ 学校は子どもたちが楽しく、生き生きと活動する場所となっている。

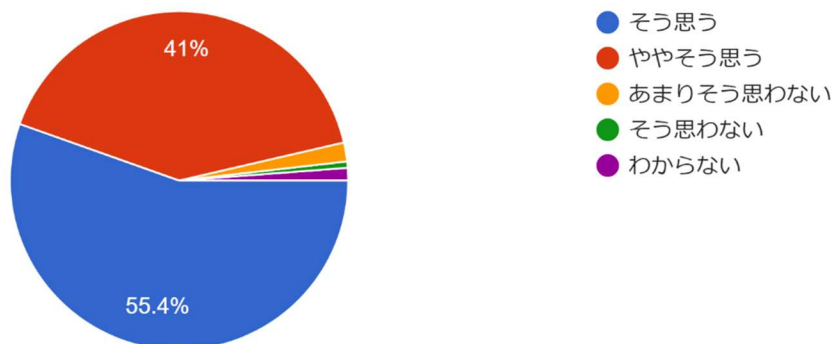
166 件の回答



昨年度に続き 90% を超える肯定評価をいただきました。今後とも十三小が、子どもたちにとって、楽しく生き生きと活動できる場となるよう、教職員一同努力を続けてまいります。

## ２ 学校は十三小保教の会や関係諸機関と連携して、子どもたちの安全に関する取組を行っている。

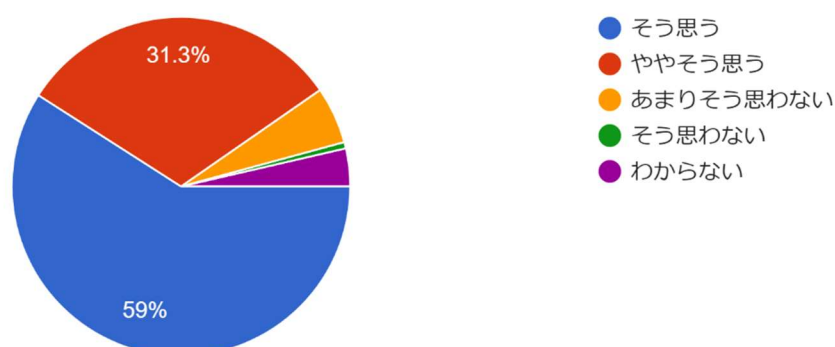
166 件の回答



登下校時の見守りやセーフティ教室、小平警察や消防署との連携を取りながら、安全にかかわる取組を進めて参りました。今後とも、子どもたちの安全にかかわる取組を継続してまいります。ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

### 3 学校は学習のルールについて指導し、規律ある授業を行っている。

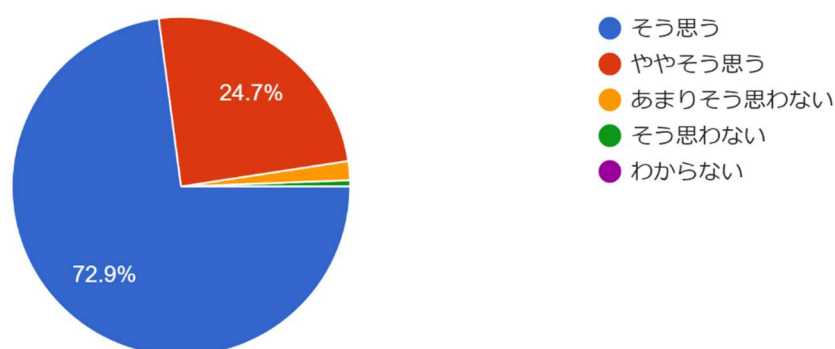
166 件の回答



コロナ禍が明けて、学校での子どもたちの様子がよく見えるようになったこともあり、授業中の学習規律についても見えやすくなったようです。十三小では「13のやくそく スマイル13」など、学習や生活にかかわるルールの指導を行っています。今後とも丁寧な指導を続け、授業の効果を上げてまいります。

### 4 学校は運動会やなわとび月間、裸足の外遊びなど...子どもたちの健康増進・体力向上を図っている。

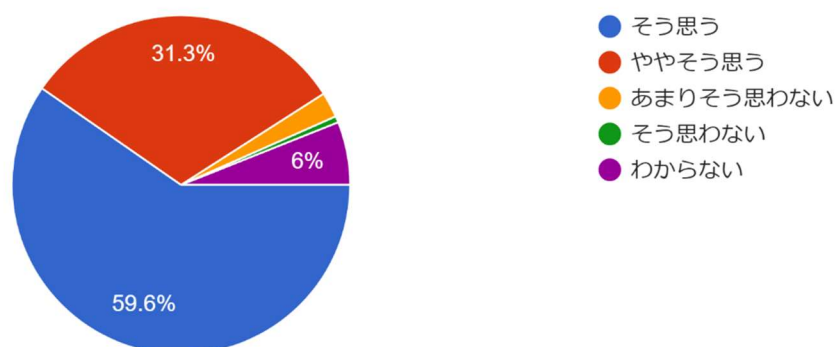
166 件の回答



97.6%の肯定評価は今回のアンケートでは最高値です。市内唯一の校庭芝生化を実現させ、裸足の運動会や裸足の外遊び、縄跳び月間、マラソン月間の実施など、年間を通して体力向上の取組を継続しています。昨年度の体力テストの結果では、第3・4学年男子、第4・5学年女子と第6学年で全8種目のほぼ全てで小平市の平均を上回っています。市内の小学校で、体力・運動能力が比較的高いという結果が出ています。今後とも、健康増進・体力向上への取組を一層充実させて参ります。

## 5 学校は学習ボランティアやゲストティーチャーなど、地域の人材と共同した授業を積極的に行っている。

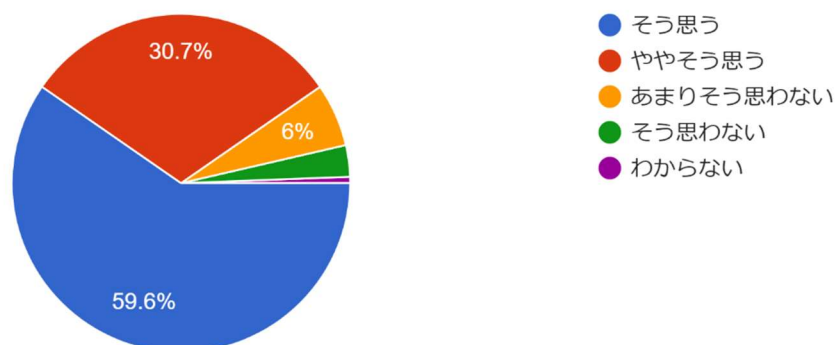
166 件の回答



学校ホームページでもお知らせしているとおり、1学期末より3年生以上で算数学習ボランティアをお願いしています。今年度、教育活動にかかわったボランティアの皆様は、のべ400名を越える見通しです。昨年度の結果と比較すると、この項目で「わからない」という回答が6ポイント減少しました。今後とも様々な手段で学習ボランティアやゲストティーチャーの活動をお伝えしていくと共に、地域と一体となった教育活動をより一層充実させてまいります。

## 6 学校はホームページや学年・学級だよりなどで、教育活動をわかりやすく伝えている。

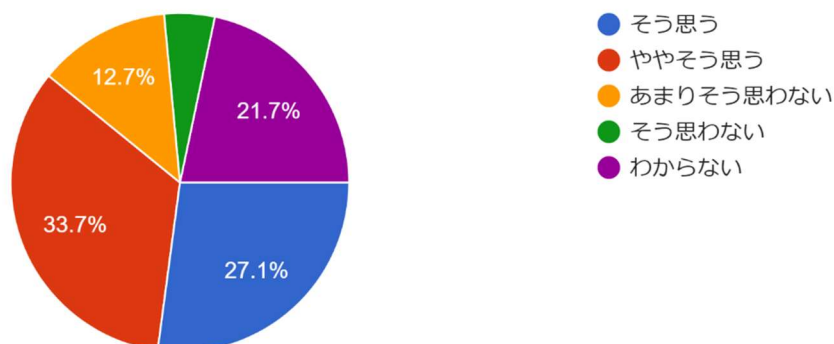
166 件の回答



今年度の学校ホームページ閲覧回数は、7万回を超える見通しです。保護者・地域の皆様の教育活動への関心の高さに答えるため、学校日記は毎日更新し、各学年・学級からはクラスルームを使ったお便りの配信を定期的に行っています。今後とも日々の教育活動の他、十三小の目指す理念、健康・安全にかかわる情報などを幅広く発信してまいります。

## 7 学校は一人一人に応じた特別支援教育を行っている。

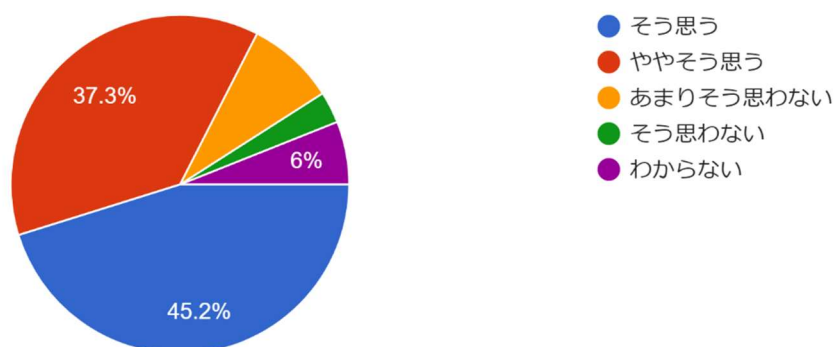
166 件の回答



今回実施した13項目のアンケートで、最も肯定評価が低かった設問です。特別支援教育は都内全校で重視されていますが、学校公開などでも具体的に見えにくいというのが現状です。特別支援教育については、本校の取組を今後とも様々な方法を用いて発信してまいります。

## 8 学校はあいさつや言葉遣いなど、基本的な生活習慣を身に付ける指導を行っている。

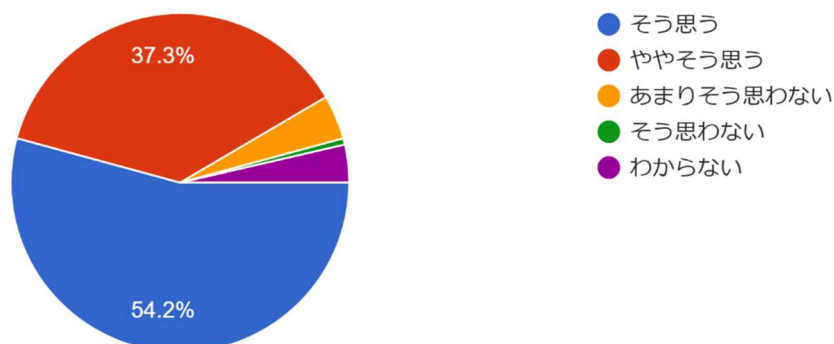
166 件の回答



あいさつや言葉遣いについては代表委員会など子どもたち相互の啓発活動も昨年度から行っています。基本的な生活習慣の定着についても、社会性の基礎を身に付ける観点から、各学級で大切にしています。指導の実態が見えにくいことから「わからない」という回答が増えていることが読み取れます。

## 9 学校は学力の向上や、タブレットなどICTのスキルを高める指導を行っている。

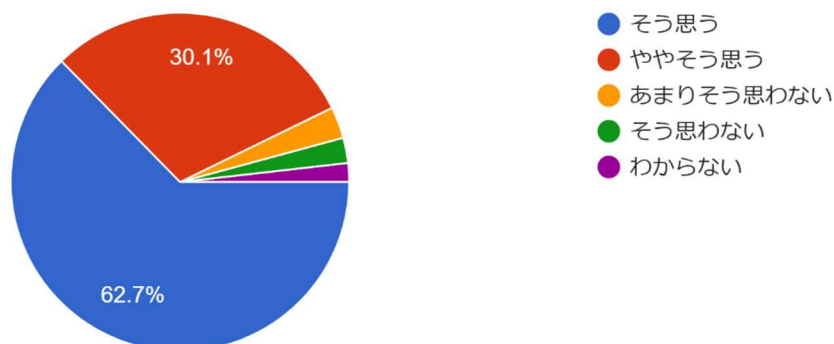
166 件の回答



学習者用端末（タブレット）は、日々の授業で毎日活用され、ドリル機能、プレゼンテーション機能などを子どもたちが使いこなしている様子が日常的になりました。ほぼ全員の子子どもたちが端末の操作を行う授業が日常的で、児童アンケートの結果からも「自分の学習に役立っている」という意識の高まりが読み取れます。しかし端末を活用した家庭学習という点では、13番目の質問項目の集計結果の通り、工夫・改善の余地があります。

## 10 子どもは友達と仲よく過ごせている。

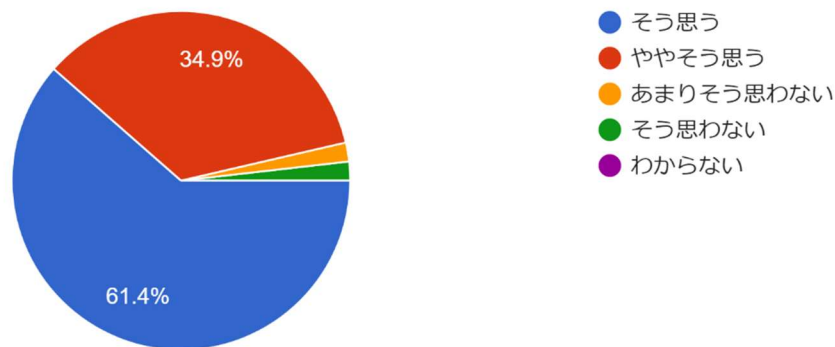
166 件の回答



児童アンケートの結果でも、「友達を大切にしている」の肯定評価が高い割合を示しました。今後とも相手意識、他者を肯定的に見る意識の涵養を図ることは言うまでもありませんが、相手の意見を大切にできること、相手の意見を生かせることなどにも視点を当て、教育活動を展開していきます

### 1 1 子どもは社会のルールを守り、安全や健康に気を付けて過ごせている。

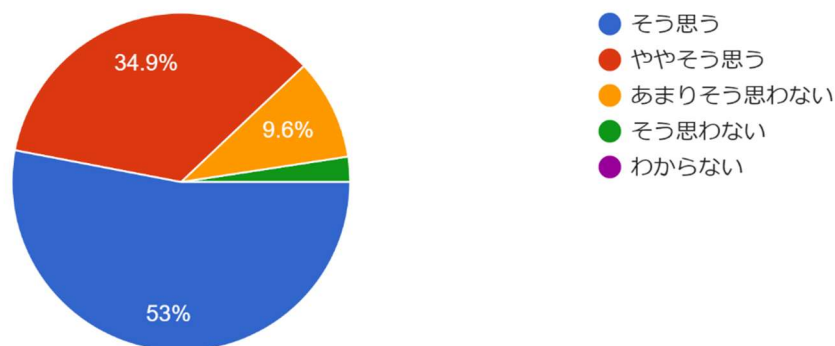
166 件の回答



登下校時の見守りやセーフティ教室、小平警察や消防署との連携を取りながら、安全にかかわると取組を進めて参りました。96%の肯定評価に対して、「そう思わない」の回答が昨年度より大きく減っています。コロナ禍が明けて、教育活動の見える化が進んだ結果とも読み取れます。今後とも子どもたちの安全にかかわる取組を継続してまいります。

### 1 2 子どもは、早起き、早寝、朝ごはんを実行して健康に過ごしている。

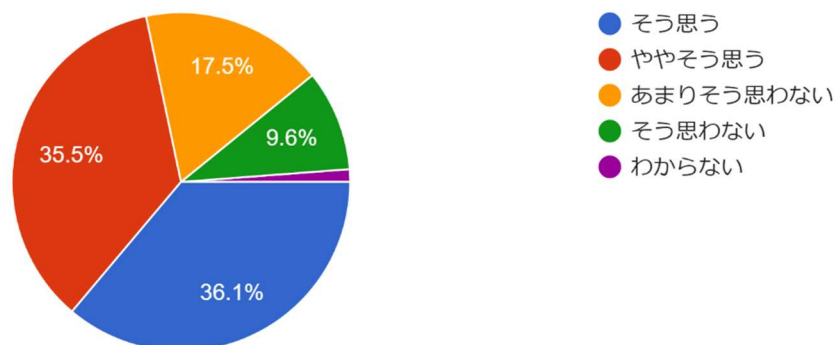
166 件の回答



「早起き、早寝、朝ごはん」は、児童アンケートでは意見が割れた質問項目でした。家庭での健康に関しては、保健室からの情報発信や、健康診断（計測）の際の保健指導などを通して、情報提供を続けてまいりましたが、今後もこれらを継続していきます。

### 1 3 子どもはタブレットの活用を含め、学年×10分の家庭学習を習慣化している。

166 件の回答



家庭での学習の習慣化には、学年・学級からの課題提示はもちろん、一人一人の進度や進捗に合わせた課題が必要です。現在、学習者用端末（タブレット）に導入している学習アプリには、一人一人に応じた課題選択ができる機能があります。このようなアプリの活用も促しながら、今後ともご家庭での学習の習慣が定着していくよう、働きかけを進めて参ります。